

学校教育目標 「自立」自ら学び、考え、行動する人 「共生」思いやりをもち、共に生きる人 「健康」しなやかで丈夫なところからだきもつ人									
○目指す学校像 「すべてはみんなの笑顔のために」三吾小に集う子供、保護者・地域、そして教職員 すべての人々の笑顔あふれる学校 ○目指す児童像 「学ぶ」ということを通じて、「思いやり」の上に立つ真の教養と品格とを身に付けようとする子供 そのために、主体的(proactive)に生きる子供 ○目指す教師像 ①教育への情熱と使命感にあふれた教師 ②自らも学び、子供とともに感動することのできる教師 ③社会人としての教養と品格のある教師									

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価 記入欄	評価
【人権尊重】 【自主自立・自律の態度の育成】 【個に応じた支援】		道徳の授業を中心に、全教育活動を通して思いやりのこころを育てる。	基本的な人権を侵害する言動を「見送さない、許さない」指導を徹底し、組織的に差別やいじめの防止に取り組む。	4 教アで90%以上が組織的に対応したと回答 3 教アで80%以上の教職員が組織的に対応したと回答 2 教アで70%以上の教職員が組織的に対応したと回答 1 教アで組織的に対応したと回答した教職員が70%未満	4 4	4 認知したいじめ問題に100%対応、95%以上解決 3 認知したいじめ問題に100%対応、90%以上解決 2 認知したいじめ問題に100%対応、80%以上解決 1 解決80%未満、または対応できないケースがあった	1	・認知したいじめ問題には校内委員会を通して100%対応している。解消率は60%、40%は経過観察として、慎重に見守りを行っている。	・児童の様子を丁寧に観察するとともに「いじめの訴えがあればいじめ」という基本方針に則り、早期の段階で「学校いじめ対策委員会」を通して組織的に対応する。	・549人の児童に1件のいじめの発生は望まない。未然の対策が重要 ・児童の声によく耳を傾けささいな変化にも丁寧な対応をされていると思います ・いじめ問題に対しては100%に近い解決をしてほしい ・いじめをせずにいられる心の持ちようを学ぶ場であってほしい ・児童が先生に相談できる関係を大切にしてほしい ・認知できている事が大事だと思います。先生方の努力にいつも感謝しています ・ほぼ全件に一次対応を行っていることを評価いたします	3.7
		自分で考え、正しく行動する力を育成する。	「三吾あいことば」を徹底し、自主自立・自律の生活態度を身に付けさせる。	4 教アで90%以上が「徹底して指導した」と回答 3 教アで85%以上が「徹底して指導した」と回答 2 教アで80%以上が「徹底して指導した」と回答 1 教アで「徹底して指導した」と回答した教職員が80%未満	4 4	4 児アで90%以上が「意識して生活している」と回答 3 児アで80%以上が「意識して生活している」と回答 2 児アで70%以上が「意識して生活している」と回答 1 児アで「意識して生活している」児童が70%未満	3	・代表委員会が「あいことば」を動画で紹介する取組をした。項目によって意識の高さに差が見られた。	・生活指導の週目標で計画的に各「あいことば」について指導するとともに、児童会活動を通して「自律」的な取組も継続する。	・三吾の輝く願いのシンボル97.2% 三吾入学良しの思いが煌いている ・三吾あいことばを意識できている児童が多くみられます ・改善策の通り進めて欲しい ・コロナ禍も工夫して継続的に伝える活動が素晴らしいと考えます	3.8
		コロナ禍における個に応じた支援体制を構築する。	特別支援教育コーディネーターを中心に、不登校傾向や集団不適応の傾向のある児童への個別支援体制を人的・物的に構築する。	4 教アで90%以上が「情報共有・組織的な支援を実施」と回答 3 教アで85%以上が「情報共有・組織的な支援を実施」と回答 2 教アで80%以上が「情報共有・組織的な支援を実施」と回答 1 教アで「情報共有・組織的な支援を実施」と回答した教職員が80%未満	4 4	4 不登校・不登校児童に、100%対応、別室・ICT活用学習95%以上実施 3 不登校・不登校児童に、100%対応、別室・ICT活用学習90%以上実施 2 不登校・不登校児童に、100%対応、別室・ICT活用学習85%以上実施 1 別室・ICT活用学習実施80%未満、または対応できず。	3	・校内委員会を通した組織的な対応は定着している。支援方法に関する校内研修も実施した。別室指導は効果的であったが、人的配置が課題である。	・適宜校内委員会を開催し、担任だけで抱え込まず、管理職・特別支援コーディネーター・SC・専門員・支援員等が組織的に対応する三吾小のスタイルを徹底する。	・個を尊重しながらも常に教育目標と照らし合わせて指導してほしい ・日常的に個に応じて支援体制をとられていると思います ・教員や児童の心が疲弊しないよう多くの方で支えあえたらと思います ・良く考えられていると思います ・学校がワンチームとして活動を行い、更によりよい対応ができるようお願いいたします	3.8
		アクティブ・ラーニングの視点をもって、シンキング・サイクルの活用による授業改善を行い、各教科等の「見方・考え方」を獲得させる	シンキング・サイクルを活用した指導法改善の研究を通して、児童に主体的に学ぶ学び方を定着させる。	4 教アで90%以上が「積極的に研究した」と回答 3 教アで85%以上が「積極的に研究した」と回答 2 教アで80%以上が「積極的に研究した」と回答 1 教アで「積極的に研究した」教員が80%未満	4 4	4 R3・国語・算数実力テスト(1月末実施)標準偏差がR2 1月比+2ポイント 3 R3・国語・算数実力テスト(1月末実施)標準偏差がR2 1月比+1ポイント 2 R3・国語・算数実力テスト(1月末実施)標準偏差がR2 1月比+0ポイント 1 R3・国語・算数実力テスト(1月末実施)標準偏差でマイナス	3.8	・年間7回の授業研究会に加え、各教員年間3回の授業観察等を通して、シンキングサイクルを活用した授業展開が定着してきた。	・シンキングサイクルを活用した授業を、本校の文化として発展させるとともに、学力向上委員会が計画する基礎学力定着の取組を徹底する。	・新しい世代の変化とともに新しい試みが生まれ思考や判断力が強化されていく ・シンキングサイクルを活用した授業の成果が発揮される場面が児童同士の関わりで見られます ・学習も大切ですが常識的なことも大切です ・シンキングサイクルを活用した授業をより定着させて欲しい ・継続及び更なる工夫で児童があきない形で定着できるとよりよいと考えます	3.8
【健康、安全教育】	自らの生活を振り返り、自分の健康、安全を向上させる力を育成する。	7月までに「家庭学習の手引き」を改定し、タブレット端末の効果的な活用を含む家庭学習の定着を図る。	4 保アで「学校は家庭学習推進手立てを実施」に90%以上が肯定的回答 3 保アで「学校は家庭学習推進手立てを実施」に85%以上が肯定的回答 2 保アで「学校は家庭学習推進手立てを実施」に80%以上が肯定的回答 1 保アで「学校は家庭学習推進手立てを実施」に80%未満が肯定的回答	4 2	4 保アで「家庭学習しかり取り組んでいる」に85%以上が肯定的回答 3 保アで「家庭学習しかり取り組んでいる」に80%以上が肯定的回答 2 保アで「家庭学習しかり取り組んでいる」に75%以上が肯定的回答 1 保アで「家庭学習しかり取り組んでいる」に75%未満が肯定的回答	2	・学校で学んだことを定着させる「宿題」と、児童が自分で考えて行う自由課題「トッピング学習」を両立させたいが、児童の能力や各家庭の意識には差違がある。	・家庭学習の手引きとして「家庭学習のすすめ」を提示し、「10分×学年+10分以上」の家庭学習を推進する。	・「ひたむきの積み重ねから能力の成熟が備わっていると思う ・児童は宿題とトッピングを自発的に行うよう意識している人が多く見られます ・子供は進んで勉強するとは思えないので父母に話を ・家庭学習は難しいと思いますが、続けて努力お願いします ・家庭学習の意識が高まるよう伝えることが重要だと考えます	3.4	
		自らの生活を振り返り、自分の健康、安全を向上させる力を育成する。	コロナ禍の体育の授業改善・体育的行事の工夫を行い、運動能力・体力の向上を図る。	4 教アで90%以上が「体力テストを分析し取組を行った」と回答 3 教アで80%以上が「体力テスト分析し取組を行った」と回答 2 教アで70%以上が「体力テストを分析し取組を行った」と回答 1 教アで「体力テストを分析し取組を行った」教員が70%未満	4 4	4 体力テスト結果区平均以上項目が90%以上 3 体力テスト結果区平均以上項目が70%以上 2 体力テスト結果区平均以上項目が60%以上 1 体力テスト結果区平均以上項目が60%未満	2	・感染予防対策のための制約が多い中で工夫して取り組んだ。握力、女子ソフトボール投げに課題が見られた。50m走は良好であった。	・感染予防対策に配慮しながら「体力向上一級一取組」を推進するとともに、校内体育部が発信する体育授業改善策を推進する。	・コロナ禍に於いては可能な限りの指導法で結果が実ったのではないかと考える ・感染予防対策をしながら、工夫した授業内容で児童は楽しく取り組んでいると感じます ・制約の多い中で体力作りは大変だったと思います ・感染対策を取りつつ児童の体力向上が図れるとよいと考えます	3.6
【地域と協働した子育て、開かれた学校】	学校の積極的に開いて、地域と学び、地域から学ぶ教育を推進する。	避難訓練、安全指導等を通して、災害や不審者に自ら対応できる危機回避能力を育成する。	4 全学級が、適切な教材を使用し効果的な防災教育を実施 3 90%の学級が、適切な教材を使用し効果的な防災教育を実施 2 80%の学級が、適切な教材を使用し効果的な防災教育を実施 1 適切な教材を使用し効果的な防災教育を行った学級が80%未満	3.4	4 予告なしの訓練で避難完了まで5分以内 3 予告なしの訓練で避難完了まで6分以内 2 予告なしの訓練で避難完了まで7分以内 1 予告なしの訓練で避難完了まで7分以上	4.0 (3.4年)	・登校直後や掃除時間など、多様な設定をして実施してきた。全校避難はできなかったため、全校での避難時間は測定できていない。	・全校での校庭避難ができなかったため、今後可能になったら実践していく。登校途中など多様な状況での訓練を実施する。	・登下校の訓練はかなりの困難と考えられるが今後場合は非克服してほしい ・避難訓練の内容は児童の身に付いていると感じます ・子供は自分で自分の事を守れない。訓練は何回も何回も行う ・児童アンケートでも皆が真剣に取り組んでいることが理解できる ・児童自身の評価、保護者の評価が高い事は良いと思います ・危機予知の意識付けを資料で学習することも重要で有用と考えます	3.9	
		HPや学校便り等の充実、土曜学校公開、保護者会等を通して、積極的に教育活動の情報発信に努める。	キャリア教育特別授業をはじめ、地域のゲストティーチャーを積極的に招聘し、体験的な学習の充実を図る。	4 ゲストティーチャーを活用した授業を年間7回実施 3 ゲストティーチャーを活用した授業を年間5回実施 2 ゲストティーチャーを活用した授業を年間3回実施 1 教アで「ゲストティーチャーを活用した授業を年間3回未満	1.4	4 児アで90%以上が「ゲストティーチャーと行う学習のめあてを達成した」と回答 3 児アで80%以上が「ゲストティーチャーと行う学習のめあてを達成した」と回答 2 児アで70%以上が「ゲストティーチャーと行う学習のめあてを達成した」と回答 1 児アで「ゲストティーチャーと行う学習のめあてを達成した」児童が70%未満	3.2	・例年の同様、あまりゲストティーチャーを招くことはできなかったが、花王石鹸の出前授業など新しい試みも実施した。	・実施ができなかったゲストティーチャーとの引き継ぎをしかり行い、可能になったら実施できるように準備しておく。	・企業参加には興味が高まります。児童にとっては得がたい機会となったはず ・コロナ禍で実施が難しいことも多い中、出来る最善の事を行われていると思います ・地域の結びつきや地域を知ることは大切だと思うので実施してほしい ・コロナ禍でも実施できる活動を模索した点が素晴らしいと考えます	3.8
【教職員の資質・能力の向上、働き方改革推進】	校内研究、研修を充実し、教職員の指導力向上を図るとともに、計画的な学校評価に基づく経営改善を図る。教職員の働き方を改善し、健全な学校教育を推進する。	HPや学校便り等の充実、土曜学校公開、保護者会等を通して、積極的に教育活動の情報発信に努める。	HP、学校だより、学校公開、動画通信等を通して、保護者・地域の学校教育への理解を深め、教育活動への参画を促す。	4 保アで「学校は積極的に情報発信している」に肯定的回答85%以上 3 保アで「学校は積極的に情報発信している」に肯定的回答80%以上 2 保アで「学校は積極的に情報発信している」に肯定的回答70%以上 1 保アで「学校は積極的に情報発信している」に肯定的回答70%未満	3.7	4 保アで「学校の教育活動がよく分かる」に肯定的回答85%以上 3 保アで「学校の教育活動がよく分かる」に肯定的回答80%以上 2 保アで「学校の教育活動がよく分かる」に肯定的回答70%以上 1 保アで「学校の教育活動がよく分かる」に肯定的回答70%未満	3.2	・PTAの協力もあり、オンラインによる授業公開等、現在の状況下でできることを実践してきた。	・オンラインによる授業公開などを駆使してコロナ禍でも積極的に情報発信することを続けていく。	・世界先進国では遅れをとっている分野。様々な機会に利用活用してほしい ・日常から情報交換共有を積極的にして頂きたいと感じます ・保護者アンケートでも良い評価でしたのでこのまま進めて欲しい ・学校での児童の様子は親も気になる点です。デジタル化で新しい取組をされていることが素晴らしいと思います	4.0
		教職員としての専門性を高めるために、組織的に研修を推進し、教員の指導力、資質・能力の向上を図る。	年に4回の服務事故防止研修会、毎月の報告に基づく注意喚起を徹底し、日常からお互いに相談や声かけがしやすい集団作りに取り組む。	4 教アで100%が「当事者意識をもって各研修を受講」と回答 3 教アで95%が「当事者意識をもって各研修を受講」と回答 2 教アで90%が「当事者意識をもって各研修を受講」と回答 1 教アで「当事者意識をもって各研修を受講」と回答した教員が90%未満	3.9	4 事故件数0、保アで教職員の信頼度90%以上 3 事故件数0、保アで教職員の信頼度85%以上 2 事故件数0、保アで教職員の信頼度80%以上 1 事故発生、または保アの信頼度80%未満	3.8	・問題形式のワークシートを活用して、計画的に研修を行うことができた。	・常に当事者意識をもって研修にあたり、よりオープンな雰囲気職場できるように励む。	・個と集団に主義主張がうまくかみ合うように互いが高めて問題あれば解決してほしい ・先生同士の声掛けもよく行われていると感じます ・とても良いと思います ・教職員アンケートの考察の通り続けて欲しい ・素晴らしい取組状況であると考えます	3.9
【教職員の資質・能力の向上、働き方改革推進】	校内研究、研修を充実し、教職員の指導力向上を図るとともに、計画的な学校評価に基づく経営改善を図る。教職員の働き方を改善し、健全な学校教育を推進する。	教員としての専門性を高めるために、組織的に研修を推進し、教員の指導力、資質・能力の向上を図る。	・校内研究を推進し、指導力を高める。 ・経営支援部に、校務のOJTを推進させる。 ・朝礼講話、INAOHによる資質向上研修を実施する。	4 教アで90%が「各種研修に意欲的に参加」と回答 3 教アで85%が「各種研修に意欲的に参加」と回答 2 教アで80%が「各種研修に意欲的に参加」と回答 1 教アで「各種研修に意欲的に参加」と回答した教員が80%未満	3.1	4 教アで90%が「各種の研修が自己の資質・能力向上に効果があった」と回答 3 教アで85%が「各種の研修が自己の資質・能力向上に効果があった」と回答 2 教アで80%が「各種の研修が自己の資質・能力向上に効果があった」と回答 1 教アで「各種の研修が自己の資質・能力向上に効果があった」と回答した教員が80%未満	3.0	・年間7回の校内研修授業を行い、シンキングサイクルを活用した学習やそれぞれの教科の指導方法について研修を深められた。 ・オンライン朝礼等の動画番組作成を通して、効果的な動画の編集方法を身に付けている。	・校内研究授業を中心に研修を進め、校内研修を更に充実させ、若手教員資質も、授業力の向上を目指す。	・教職員の力量を高め児童の教育には重要な成果として導くことと考えられます ・学習発表会等でもオンライン配信をしかり行われており、若い先生も活躍されていると感じます ・教師自身が自信をもって授業にあたるのが大事なので研修をすすめることはいいことです ・シンキングサイクルを活用した学習を本校の文化にしたい ・現場では教員不足で人を育てる場では本当に命がけかと思えます。その中で自己・学校の能力向上のために時間がいくらあっても足りないと思いつつ子供たちにつくしてくれています	3.3
		校務を整理し、教職員の働き方改革を推進して、教職員の身体的・精神的な健康を守る。	職員の平均残業時間月45時間以内を達成する。また、ジェンダーフリーな職場の雰囲気醸成を図る。	4 教アで90%以上が「目標在勤時間50時間以内を意欲的に働くことができた」と回答 3 教アで80%以上が「目標在勤時間50時間以内を意欲的に働くことができた」と回答 2 教アで70%以上が「目標在勤時間50時間以内を意欲的に働くことができた」と回答 1 教アで「目標在勤時間50時間以内を意欲的に働くことができた」と回答した教員が70%未満	3.4	4 週あたりの在勤時間、平均50時間以内を達成 3 週あたりの在勤時間、平均55時間以内を達成 2 週あたりの在勤時間、平均60時間以内を達成 1 週あたりの在勤時間、平均60時間より長い	2.5	・個人差はあるが、退勤時間は早くなっている。SSS(サポートスタッフ)の活用などにより職務の軽減も進められている。	・今後職務の精選と効率化を常に念頭に置き、重点を決めて経営、運営を行う。	・創意工夫が必要。理想の働き方改革が実現できること希望します ・コロナ禍で増えた業務もあると思いますが、効率的な働き方を心掛けておられると思います ・メリハリつけた働き方ができる環境づくりを継続して欲しい ・先生は大変な仕事だと思いつつ入っていますので進めて欲しい ・保護者からの三吾に入ってくれた評価に先生達の一生懸命さが伝わっていたのだと思います ・働き方改革が進んでいることを実感しており、素晴らしいと考えます	3.3